

# 事後評価調書

I 事業概要				
事業名	六名地区下水道床上浸水対策事業			
地区名	占部川排水区上流部			
事業箇所	愛知県岡崎市			
事業目的	当地区は、平坦な皿状地形であり超過降雨時には床上浸水が解消されていない浸水常襲地区である。このため、市民の生命、身体及び財産を災害から保護するため、早急な浸水対策が求められている。			
事業目標	【達成（主要）目標】 既往最大降雨（平成20年8月末豪雨：71.0mm）に対して床上浸水被害の解消 ・政策目標：水害等災害による被害の軽減。・施策目標：住宅・市街地の防災性を向上する。			
事業費	事業費	内 訳		
	53億円	■工事費 53億円	□用地費 億円 □その他 億円	
事業期間	採択年度 H31年度	完成年度 令和4年度		
事業内容	既往最大降雨（平成20年8月末豪雨：71.0mm/h）の降雨に対応するため、六名雨水ポンプ場建設等の事業を実施し、床上浸水被害を解消する。			
II 評価				
事業評価の発現状況	【発現状況】 令和7年9月5日の台風15号(時間最大78.0mm/h)では床上・床下浸水被害の報告なし。			
	【発現状況に対する評価】 六名雨水ポンプ場完成後、発生した豪雨、台風において浸水被害の防止に大きく寄与した。			
	【費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化】			
			事前評価時	実績
	事業期間		H31～H35	H31～R5
	事業費 (億円)	工事費	61	72.4
		用地補償費	-	-
		維持管理費	1.3	1.9
			合計	74
	効果の 算定要因	年平均被害軽減面積	13ha	0ha
年平均浸水軽減戸数		200戸	0戸	
【事業期間に対する評価】 当初予定の期間内に事業が完了した。				
【事業費に対する評価】 想定外の岩盤等により総事業費が約1.2倍となった。				
【効果の算定要因に対する評価】 費用対効果（B/C）は、当初計画時より小さい値となったが、1.0以上であり、十分な事業効果を期待できる。				
事業実施の進捗による	なし。			
社会経済情勢の	なし。			
III 対応方針（案）				
今後の事後評価の必要性	なし。			
改善措置の必要性	なし。			
同種事業に反映すべき事項	なし。			
IV 委員会の意見				
V 対応方針				